



Title	デザイン理論 70号 投稿規程/執筆要領/編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2017, 70, p. 114-116
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/65060">https://hdl.handle.net/11094/65060</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 「デザイン理論」投稿規程

昭和37年11月11日改正, 昭和60年11月8日改正  
平成2年11月10日改正, 平成6年7月9日改正  
平成14年11月9日改正, 平成18年11月18日改正  
平成24年11月24日改正, 平成27年7月25日改正

1. 内 容：デザインに関する未発表の論文, 研究報告等。
  2. 投稿資格：本学会員
  3. 採 択：採否及び掲載号については編集委員会が決定する。ただし, 原則として, 同一会員の論文を1年以内に2度掲載することはない。
  4. 査 読：学術論文については, 編集委員会が査読者2名に依頼する。査読結果は編集委員会が本人に通知する。結果は, A 無条件採用, B 条件付採用, C 不採用とする。
  5. 執筆要領：別に定める。
  6. 提出期限：基本的には随時。ただし, 学術論文は, 査読のため, 5月春号掲載希望は, 1月15日, 11月秋号掲載希望は, 6月30日を締め切りとする。学術論文以外は, これは投稿
  7. 提 出 先：意匠学会編集委員会
- 予告の期限で, 実際の投稿期限は, それぞれ3月31日, 8月31日とする。
- 付記 (著作権について)
- ・本学会誌に掲載された論文の著作権および編集出版権は本学会に帰属するものとする。
  - たとえば論文集または電子データの形で出版 (複製・頒布および公衆送信) する権利, またデジタル・アーカイブ化等の権利である。
  - ・ただし著者本人が利用する場合には制約を受けない。
  - ・本学会は, 執筆者の所属機関においてなされる本誌に掲載された論文の電子的な応用 (所属機関のリポジトリでの公開) を妨げない。
- なお以上の規程は, 平成27年7月25日より発効する。

---

## 「デザイン理論」投稿宛先 (編集事務局)

意匠学会『デザイン理論』編集委員会 (投稿票を添付のこと)

〒606-8585

京都市左京区松ヶ崎橋上

京都工芸繊維大学 デザイン・建築学系 三木順子研究室内

TEL : 075-724-7633 (直通)

FAX : 075-724-5710 (共同)

e-mail : design.riron@gmail.com

## 1. 原稿

- ・原稿は、ワープロあるいはパソコン・ソフトで作成することが望ましい。
- ・A4大の用紙に1行42字、1頁32行程度で作成すること。
- ・学術論文の場合は、A4サイズのレイアウト見本4部同封して編集委員会宛に投稿すること。(テキスト・データ、図表版下あるいは図表データは査読を経て掲載が決まった段階で、最終原稿として最終的なレイアウト見本とともに編集委員会宛に郵送する。)
- ・研究報告の場合は、テキストおよび図表データとA4サイズのレイアウト見本を郵送する。
- ・書評、図書紹介、発表要旨については、テキストおよび図表データとA4サイズのレイアウト見本を編集事務局に郵送するか、あるいは編集担当者に電子メールに添付して送付する。
- ・学術論文、研究報告、等の本文データのファイル形式はプレーン・テキストかワードに限る。
- ・学術論文、研究報告、等の図表をデータで提出する場合、ファイル形式はJPEG、TIFF等の一般的なものとし、解像度、画像サイズ等を適切に設定すること。またその場合も必ずデータのプリントアウトを添付すること。
- ・原稿用紙を使用する場合は、本文は400字詰横書き原稿用紙を使用し、レイアウト見本を付す。
- ・投稿に際しては、原稿のコピーを手許に保存すること。

## 2. 原稿の分量

- ・学術論文と研究報告の場合は、本文、図

版、図表、注等をすべて含めて、刷り上りで、14頁以内。(400字詰原稿用紙で約45枚)

- ・書評の場合は、刷り上りで2頁、4頁、6頁等偶数頁に収まること望ましい。
- ・図書紹介及び発表要旨の場合は、刷り上りで2頁に収めること。

## 3. 原稿の構成

- ・学術論文と研究報告の場合は、本文(図版、図表、注を含む)とは別に欧文要旨(原則として英文)を添付すること。
- ・本文第1頁に、表題、著者名、キーワード、目次を付すこと。
- ・欧文要旨は、刷り上り1頁とする。語数は約200語。当該言語を母国語とする人による校閲を得ておくこと。
- ・キーワード(和文と英文)は、それぞれ5語以内とする。

## 4. 図・表のレイアウトなど

- ・図版はモノクロームとし、位置の指定、大きさ、レイアウト、必要なトリミングなどはすべて執筆者が行うこと。
- ・図版などの著作権の問題があると思われる場合は、執筆者自身が事前に許可をとっておくこと。
- ・当学会は、著作権についての責任を負わない。

## 付記

- ・学術論文は、口頭発表を経てから投稿されることを原則とする。
- ・口頭発表を経た投稿者は発表した例会または大会について、投稿票の所定の欄に以下のように記入すること。

第●●●回研究例会／大会

場所：●●大学

年月日：20●●年●月●日

## 編集後記

『デザイン理論』70号をお届けします。これまで編集責任者として7号分の編集を担当し、今号で最後となります。至らぬことが多く、編集中は多くの方々にご迷惑をおかけしましたことをここでお詫びします。この編集を通して、学会誌の発行が多くのの人々の善意で成り立っていることを知りました。まず感謝したいのが、これまで査読をしてくださった多くの先生方のお力添えです。次に、実際の編集作業を助けて下さった編集委員の先生方、なかでも前編集委員長の吉村典子先生と副編集委員長の三木順子先生に感謝します。また、本学会の現行の査読制度を確立された前々編集委員長の梅宮弘光先生のご尽力も忘れてはなりません。梅宮先生が確立された投稿者と査読者の対等なコミュニケーションを保障する公平で厳密な査読制度は、意匠学会の誇りだと思えます。そして実際の発行にあたりましては、北斗プリント社の西川大輔様、松本明様にはいろいろと無理を聞いていただきました。本当にありがとうございました。現在、編集委員会では、三木新編集委員長、高安啓介新副編集委員長のもとで査読の電子化や、国際交流委員会とともに「デザイン理論」の国際化などが検討されています。これからの「デザイン理論」がますます意匠学を発展させていく場となることを願っています。

(伊集院敬行)

## 編集委員 (査読者を含む)

伊集院敬行 (委員長), 三木順子 (副委員長), 伊東徹夫, 竹内幸絵, 多田羅景太, 塚田耕一, 廣田孝, 藪亨, 山形政昭, 山口良臣

## 査読者 (敬称略)

青木美保子, 天貝義則, 石川祐一, 伊原久裕, 榊原吉郎, 神野由紀, 関哲洋, 吉村典子

---

## デザイン理論 70号

Journal of the Japan Society  
of Design, 70/2017

発行日 2017年7月31日

発行 意匠学会

事務局 〒610-1197

京都市西京区大枝沓掛町13-6

京都市立芸術大学 美術研究科

プロダクトデザイン研究室

TEL : 075-334-2319/FAX : 075-334-2321

e-mail : japansocietyofdesign@gmail.com

発行者

意匠学会『デザイン理論』編集委員会

〒606-8585

京都市左京区松ヶ崎橋上

京都工芸繊維大学 デザイン・建築学系 三木順子研究室内

TEL : 075-724-7633(直通) / FAX : 075-724-5710(共同)

e-mail : design.riron@gmail.com

編集責任者 伊集院敬行

印刷所 (株)北斗プリント社

TEL : 075-791-6125

---